

APEC首脳への提言 ABAC2012年版

要 旨

以下は、本報告に含まれる主要メッセージの要約である。

- **貿易・投資の自由化加速** APECビジネス諮問委員会（ABAC：APEC Business Advisory Council）は世界貿易機関（WTO）ドーハ・ラウンドの進展の遅れに懸念を抱いている。WTOはルールに基づく国際貿易体制にとって非常に大きな価値があると私たちは認識している。ABACはアジア太平洋自由貿易圏（FTAAP：Free Trade Area of the Asia Pacific）の設立という目標に深く関わっており、重要な原則である包摂性・透明性・包括性がFTAAPへの全ての道筋で反映されるよう、要請する。FTAAPイニシアティブへの出来るだけ幅広い参加を含めて、FTAAPに向けた実質的な進展が図られるよう要望する。
ABACはまた、APEC参加国・地域が「次世代型」貿易・投資課題を引き続き特定して調査し、自由貿易協定に取り込むよう要請する。APEC参加国・地域は、租税と移転価格に関する、透明性があり、公正で、予測可能なガイドラインの提供など、対外直接投資のためのビジネス環境を改善すべきである。
- **地域金融市場統合の推進** ABACは、APEC参加国・地域がアジア太平洋金融フォーラム（APFF：Asia Pacific Financial Forum）の設立を支持し、承認することを提言する。この目的は、統合された広範な資金調達市場の成立、貯蓄の還流に必須な市場インフラ、規制フレームワークおよび金融機関の発達、そして長期債券市場とインフラファイナンス市場の着実な成長を促すことである。提案されているAPFFは官民協働連携を強化するための基盤になると想定される。これは、地域的に統一のとれた規制フレームワークと市場インフラの発達に役立つだけでなく、域内金融の発展目標を裏付けるグローバル金融規制改革を具体化する際の共通アプローチの展開にも役立つものである。第一ステップとして2013年に協議を行い、域内の金融市場の発達、集積および連結性を促進するために、現在進められている他の地域イニシアティブを補完するアジェンダを設定することを提言する。
- **サプライチェーン・コネクティビティの強化** 物品・サービスの国境を越えた取引をより容易に低コストで迅速に行えるようにすることで地域の競争力を強化するAPECの取り組みを、ABACは称賛する。APECは、APECサプライチェーン・コネクティビティ・フレームワーク（APEC Supply Chain Connectivity Framework）の実施にあたり、包括的で協調的なアプローチを支持すべきである。域内のサプライチェーンを改善するため

に行うべきことが多くある。特に、i) サプライチェーンに関するベスト・プラクティス情報の共有をコーディネートするAPECの役割拡大、ii) データ収集の改善、iii) 物品のマーキングとトラッキングのためのシングル・ウインドウ（単一受付窓口）構想や標準化コードを含めた税関業務での必要条件と手続きの共通化、である。GlonassやGPSなどの統合衛星ナビゲーション・システムのより広範な活用がこの点で効果的と思われる、ABACは関連する世界のベスト・プラクティスを調査してウラジオストック会合で報告する予定である。

ABACはまた、サプライチェーン標準化イニシアティブにおける、APECのリーダーシップ、統制および監視という役割がさらに大きくなっていると考ええる。具体的には、情報通信技術システムおよび中小企業物流のための情報プラットフォームに適用されるAPEC全域を対象とした「モデルとなる手段・手続き」の開発とキャパシティ・ビルディング、そして非関税障壁への対策である。アジア太平洋地域と世界のその他地域を結ぶ代替輸送ルートをより広く活用することによってもたらされる機会の拡大と長期的利益を十分に考慮する必要性を、ABACは認識している。これらは国内および国際的な輸送インフラ改善プロジェクトを実施することによって可能になるものである。

■ **インフラ投資の促進** ABACは、APEC参加国・地域が強固な投資原則の採用と投資促進策の実行によって投資環境の改善に取り組むことを要請する。インフラ・プロジェクトの開発と実施、および政府機関の指針となる「APECインフラ投資のためのハイレベル計画原則（APEC High-Level Planning Principles for Infrastructure Investment）」の作成においては、統合インフラ計画アプローチの採用を提言する。アジア太平洋インフラパートナーシップ（APIP：Asia-Pacific Infrastructure Partnership）での民間部門および国際機関との対話を通して、APEC参加国・地域が協働連携してインフラ・ファイナンスに資する環境整備の具体策を立案するよう、要望する。

■ **食料安全保障の強化** APEC食料安全保障政策パートナーシップ（PPFS：APEC Policy Partnership on Food Security）の創設および本年のAPEC第2回食料安全保障担当大臣会合で採択されたカザン宣言を、ABACは称賛する。ABACは、PPFSがAPEC域内における食料安全保障政策を立案して実行するための中心的存在であると想定している。食料安全保障に関するABACの提言は、i) APEC参加国・地域における農業分野技術普及センターの設立、ii) 農業分野での投資を促進するための地域戦略投資計画の作成、iii) 食品安全の基準設定におけるAPEC食品安全フォーラム（APEC Food Safety Forum）との協力、iv) 収穫後損失を評価するための統一的手法の開発、v) 貯蔵・輸送中の食料損失を最小化する食料市場インフラを開発するための枠組み作り、vi) G20との協力を通じた国際食料市場における透明性の改善、などである。

- **環境物品・サービスの貿易促進** ABACは、APEC参加国・地域がホノルル宣言を履行するよう、要請する。首脳が合意したこの宣言は、環境物品・サービス（EGS：Environmental goods and services）のAPECリストを2012年に作成する作業を行い、それらに適用される関税率を2015年末までに5%以下に下げるものである。
- **エネルギー安全保障への取り組み** ABACは、エネルギー安全保障への多面的なアプローチを支持する。省エネルギーへの取り組み拡大、再生可能なクリーンエネルギー源の活用促進、天然ガスの利用拡大、エネルギー生産性の向上、原子力安全での協力などである。省エネルギーとエネルギー生産性の向上を進めるためにAPECがすべきことは、i) ベスト・プラクティスの情報交換を拡大する、ii) 測定と評価の基準を統一する、iii) 関連当事者全ての利益を最大化する市場メカニズムによる自発的な技術普及を支援する、iv) エネルギー効率に貢献するEGS貿易を促進する、ことである。再生可能エネルギー源への投資を促進するために必要なのは、適切な方針と法規制、規模の経済を生み出す市場の集約、低炭素技術の展開、市場ベースの新しい手法、さらには再生可能なクリーンエネルギーの生産コストを下げる可能性がある革新的研究である。
APECはまた、国境を越えたエネルギーの投資と貿易に対する障壁を削減し、低炭素天然ガスを最大限利用するための新しい輸送インフラと技術の開発に投資し、旧式で非効率な発電所や産業プラントの段階的廃止または改良を促す経済的枠組みを設定すべきである。長期的には、透明性があり予測可能な法規制環境に基づいたオープンで公正な市場の創設に向けてさらに努力する必要がある。これは、インフラと各国電力グリッドを統合した送電を通して、域内におけるエネルギーの効率的な取引をサポートするためである。
- **リビング シティの推進** 環境に負荷を与える現在の生活様式を変えるには、APEC参加国・地域の実質的な行動が必要であり、都市計画とインフラ開発に新しい原則と革新的ソリューションを導入すること、およびAPECにおける「リビング シティ」の統一基準に従うことが求められる。都市の建設や再開発では、社会的・環境的・経済的側面を統合した原則に基づき、住みやすい低炭素型のコミュニティおよびエコ シティまたはリビング シティ・アプローチを採用するよう、ABACは提言する。APEC参加国・地域のビジネス界がリビング シティの原則を尊重するような効果的インセンティブの導入にも優先的に取り組むべきである。これにより、リビング シティの基準が都市建設プランに反映されるようになるだけでなく、「グリーン」産業、報奨金や優遇関税、企業の社会的責任プログラム、さらには廃棄物の削減とリサイクルおよび二酸化炭素排出量の削減を目指した新しい規制を支援することになる。
- **技術の普及、イノベーションおよび最先端技術投資の促進** APEC参加国・地域は、海外からの技術を適用する能力を高め、自らイノベーションをおこなう能力を高める措置を講じることにより、さらに繁栄することができる。ABACは市場メカニズムによる自

発的な技術普及の重要性を認識しており、このプロセスを奨励して円滑化するような法規制環境を創出するための政策を支持する。技術をより広く普及させるために、参加国・地域が貿易と対外投資における障壁の対策に取り組むことを推奨する。さらに、各国・地域は技術を吸収する能力を強化することに加えて、革新的成長を促す措置も講じるべきである。技術の普及を促進するために、ABACはまた、首尾一貫した規制およびAPECにおける技術分野の利害関係者による互恵的パートナーシップの強化を提唱する。

- **中小・零細企業発展へのサポート** 中小・零細企業（SMME：Small, medium and micro-enterprises）は、革新的成長を支える現代経済の根幹である。しかし、SMMEは多くの課題に直面しており、特に資金調達が問題となっている。多くのSMMEにとって国際的サプライチェーンを活用するにはいくつもの障壁がある。例えば、海外でビジネスをするための知識と資源の不足である。これらの障壁への対策ツールとして、APEC次世代型双方向関税データベース（APEC Next Generation Interactive Tariff Database）とAPECサービス貿易アクセス要件（STAR：APEC Service Trade Access Requirements）データベースの開発を、ABACは強く支持する。継続性を保証し、資金面での対策を講じ、データベースを商業的に価値があるものにするさまざまな取り組みをAPECが調整することを推奨する。ABACは、SMMEを対象としたキャパシティ・ビルディングのためのイニシアティブを奨励する。例えば、APEC中小企業・若手起業家サミット（APEC SME and Young Entrepreneurs' Summit）、電子商取引プラットフォームやオンライン・ポータルなど情報通信技術（ICT：Information and communication technology）ツールの活用である。ABACは、革新的成長を促進する国境を越えた戦略連携のSMMEによる活用を妨げている障壁に対してAPEC参加国・地域が対策を講じるよう、要望する。

- **女性の経済への参加促進** ABACは、女性の本格的な経済参加を妨げている障壁に対してAPEC参加国・地域が引き続き対策を講じるよう、要請する。特に各国政府は、職場における多様性と包摂性を奨励する政策を実行できると考えられる。サンフランシスコ宣言に従い、APEC各国政府はABACに少なくとも女性を1名指名することを検討すべきである。

- **ファイナンス・イノベーション** 域内が継続的に高い経済成長を維持するためには、イノベーションのための資金調達について目下の課題を克服することが重要である。革新的アイデアが誕生してから十分に商業化されて製品の販売や会社の売却に至るこのプロセスにおいて、政府は決定的に重要な役割を果たす。ABACは、APEC参加国・地域がエンジェル・キャピタルとベンチャー・キャピタルをサポートするよう、提言する。そのために、税控除、マッチング・ファンドまたは企業買収プログラムなどの効果的なプログラムを整備するとともに、業種を越えてエンジェル投資家ネットワークを特定し、

育成し、活用できるようにする必要がある。APEC参加国・地域は、イノベーションのさまざまな段階で企業を支える一連の金融活動のために有効に機能する法規制環境を提供すべきである。例えば、初期段階ではエンジェル投資家、中間段階ではベンチャー・キャピタル、後期段階ではプライベート・エクイティ、商業銀行と投資銀行、および年金基金などの機関投資家であり、退出メカニズムも含まれる。ABACは、特にインキュベーション段階で起業家精神とイノベーションを奨励するような基本的状況を創出し、維持し、改善するためのサポートを要請する。

- **新しいサービス・アジェンダの開始** 2011年報告『競争経済の中心にあるサービスの理解 (Understanding Services at the Heart of a Competitive Economy)』に基づき、政府・民間・学界を代表するサービス専門家グループを結成し、サービス貿易・投資に関するグローバル・ガバナンスの改善方法を検討することを、ABACは要望する。具体的には、域内サービス貿易・投資の自由化という明確な目標に特化した新しいイニシアティブの立ち上げ、そしてサービスに関する域内公式統計の改善である。APECの人材養成作業部会 (Human Resources Development Working Group) で取り組んでいる熟練人材過不足比較と労働市場の情報発信プロジェクトを、ビジネス界からの情報提供を受けて完成させることを、APEC参加国・地域に要請する。これは、域内全体における熟練人材と労働力の不足に関して従来よりも利用しやすい情報を新たに蓄積するために、できるだけ迅速に行う必要がある。
- **APECビジネス・トラベル・カード問題の解決** APECビジネス・トラベル・カードは、域内でのビジネスを円滑化するための最も重要なイニシアティブのひとつである。しかし、ビジネス出張者がカードを申請や更新する際に支障をきたすことが増え、このスキームの価値を損なっている。ABACはこの問題を優先解決事項として取扱うよう、APEC首脳の支援を要望する。
- **ビジネス界とAPECとの政策対話の有効活用** 過去2年間、ABACはAPECとの関係を強化し、またAPEC政策当局と域内ビジネス界との情報交換をABACメンバーが最大限活用する方法について熟慮してきた。ABACは情報交換を首脳への年次書簡と提言書から広げて、高級実務者会合および個別の大臣への焦点を絞った情報提供も行うようにした。ABACはこれらの対話をさらに発展させることを強く望んでおり、APECが検討している、または既に開始したイニシアティブに対応して、ビジネス界の関心事と優先順位に関する情報提供を増やしたいと考えている。